

9 船橋商圏（準商業中心都市）

(1) 商圏の概要

表Ⅳ－9－1 船橋商圏

商圏 (基準吸引率)	旧・市町村区界				現・市町村区界			
	市町村		商圏人口 (人)	吸引人口 (人)	市町村		商圏人口 (人)	吸引人口 (人)
		市町村 吸引率				市町村 吸引率		
第1次 (30%以上)	計	2 70.7%	678,416	479,597	計	2 70.7%	678,416	479,597
	船橋市	77.6%	574,985	446,188	船橋市	77.6%	574,985	446,188
	鎌ヶ谷市	32.3%	103,431	33,408	鎌ヶ谷市	32.3%	103,431	33,408
第2次 (10～30%未満)	計	2 15.9%	626,919	99,946	計	2 15.9%	626,919	99,946
	習志野市	25.5%	158,806	40,496	習志野市	25.5%	158,806	40,496
	市川市	12.7%	468,113	59,450	市川市	12.7%	468,113	59,450
第3次 (5～10%未満)	計	1 6.5%	54,102	3,517	計	1 6.5%	54,102	3,517
	白井市	6.5%	54,102	3,517	白井市	6.5%	54,102	3,517
合 計		5 42.9%	1,359,437	583,059		5 42.9%	1,359,437	583,059

注1) 吸引率=吸引人口÷商圏人口×100

注2) 各商圏内の最上段吸引率は圏内加重平均(圏内吸引人口計÷圏内商圏人口計×100)

注3) 市町村・商圏人口は平成18年10月1日現在(千葉県毎月常住人口調査より)

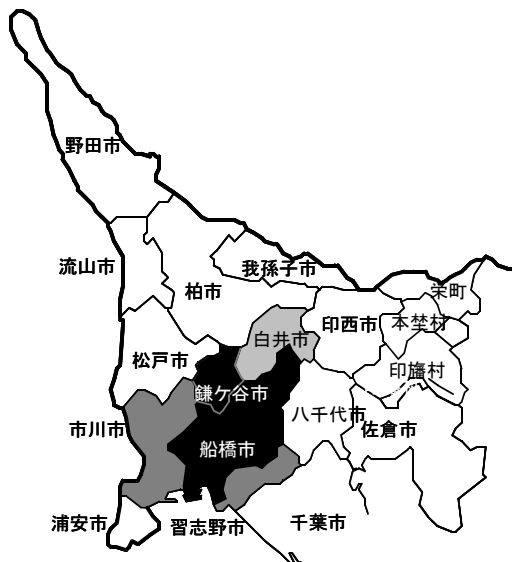
但し、旧市町村人口は平成18年10月末日現在(各市町村住民基本台帳字別人口表より)

○船橋商圏は、葛南ブロックを中心に東葛ブロックの南部、千葉ブロックの北部を取り込み、5市から形成され、商圏人口は約136万人（船橋市人口の約2.4倍）、商圏からの吸引人口は約58万人（同約101%）、商圏内吸引率は42.9%となっている。

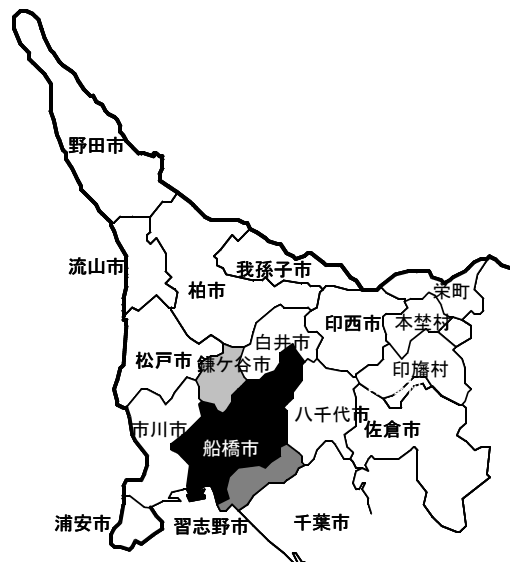
○第1次商圏は2市で吸引率の平均は70.7%、第2次商圏は2市で吸引率の平均は15.9%、第3次商圏は1市で吸引率は6.5%となっている。

図Ⅳ－9－1 船橋商圏（衣料品・食料品・飲食・贈答品）

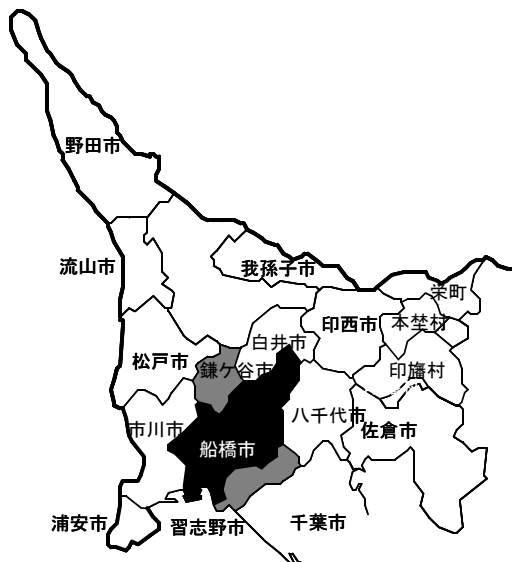
（衣料品）



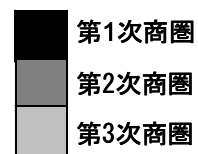
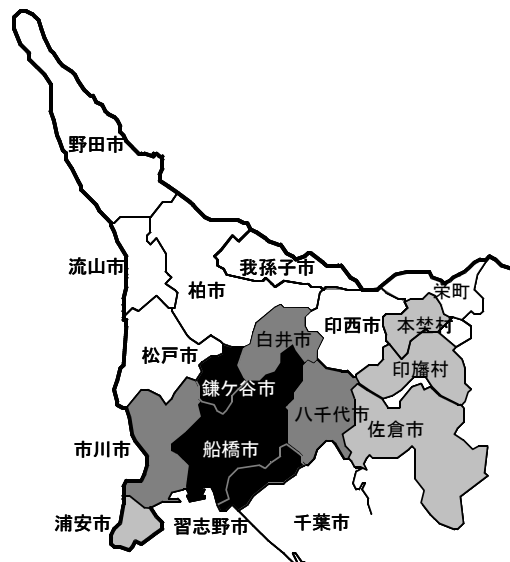
（食料品）



（飲食）



（贈答品）



(2) 旧市町村区界での前回調査との比較

○商圏内市町村数

- ・第1次商圏は船橋市1市であったが、第2次商圏から1市が入ったため、1増して2市となった。
- ・第2次商圏は3市であったが、1市が第1次商圏に、1市が第3次商圏に移動し、一方、第3次商圏から1市が入ったため、1減して2市となった。
- ・第3次商圏は2市であったが、1市が圏外に出て、1市が第2次商圏へ移動し、1市が第2次商圏から入ったため、1減して1市となった。
- ・商圏全体では、6市であったものが、1減して5市となった。

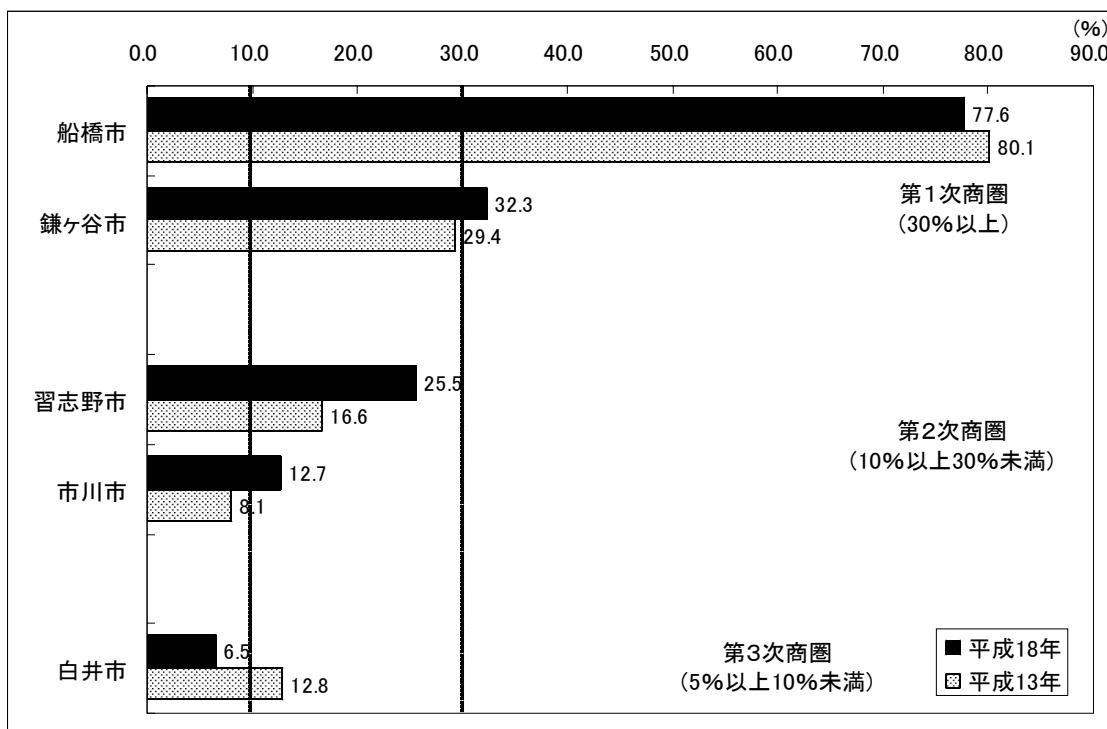
○商圏人口：前回調査時（1,487,729人）から減少して1,359,437人となった。（前回比▲8.6%）

○商圏内吸引率：前回調査時（37.3%）から上昇して42.9%となった。（前回比＋6ポイント）

○吸引人口：商圏人口が減少したものの吸引率が上昇したことから、前回調査時（555,039人）から増加して583,059人となった。（前回比＋5.0%）

○吸引力：吸引人口が増加したことから、前回調査時（100.3%）から上昇して101.4%となった。（前回比＋1ポイント）

図Ⅳ－9－2 船橋市の吸引状況の変化（旧市町村区界）



(3) 市町村合併による市町村区界変化に伴う変化

○商圏内市町村数：第1次商圏、第2次商圏、第3次商圏のいずれでも市町村合併は発生しておらず、市町村合併による変化はない。

↓

(現市町村区界での商圏の前回調査との比較)

○市町村合併による変化はなく、前記(2)項が現市町村区界での商圏の前回調査との比較となる。

(4) 衣料品購入における商圏内市町村の具体的な変化

○衣料品購入における船橋商圏内の市町村の具体的な変化を表Ⅳ－9－2に示す。

表Ⅳ－9－2 船橋商圏の市町村の変化（衣料品）

衣料品 商圏 (基準吸引率)	平成13年		平成18年(旧・市町村区界)			平成18年(現・市町村区界)	
	市町村		市町村		平成13年 からの 変化	市町村	
		平成18年 での変化			市区界変化 による商圏 からの移動		平成13年 からの 変化
第1次 (30%以上)	計	1	計	2		計	2
	船橋市		船橋市			船橋市	
			※ 鎌ヶ谷市	第2次から		※ 鎌ヶ谷市	第2次から
第2次 (10～30%未満)	計	3	計	2		計	2
	習志野市		習志野市			習志野市	
	※ 白井市	第3次へ	※ 市川市	第3次から		※ 市川市	第3次から
	※ 鎌ヶ谷市	第1次へ					
第3次 (5～10%未満)	計	2	計	1		計	1
	※ 八千代市	圏外へ	※ 白井市	第2次から		※ 白井市	第2次から
	※ 市川市	第2次へ					
合 計		6		5			5

※印は変化(商圏内の階級移動、圏外流出、新規商圏)のあった市町村

○印は市町村合併後も新市が同一階級もしくは上位階級の商圏内 △印は市町村合併後も新市が商圏内も商圏階級が低下

×印は市町村合併後は新市が商圏外 ☆印は市町村合併市

(5) その他の品目（食料品・飲食・贈答品）における商圏内市町村の具体的な変化

○その他の品目の購入における船橋商圏内の市町村の具体的な変化を表Ⅳ－９－３に示す。

表Ⅳ－９－３ 船橋商圏の市町村の変化（食料品・飲食・贈答品）

商圏 (基準吸引率)		平成13年		平成18年(現・市町村区界)	
		市町村	平成18年 での変化	市町村	平成13年 からの変化
食料品	第1次 (30%以上)	計	1	計	1
		船橋市		船橋市	
	第2次 (10～30%未満)	計	0	計	1
				※ 習志野市	新規
	第3次 (5～10%未満)	計	1	計	1
		鎌ヶ谷市		鎌ヶ谷市	
合 計			2		3
飲食	第1次 (30%以上)	計	1	計	1
		船橋市		船橋市	
	第2次 (10～30%未満)	計	2	計	2
		習志野市		習志野市	
		鎌ヶ谷市		鎌ヶ谷市	
	第3次 (5～10%未満)	計	1	計	0
		※ 白井市	圏外へ		
	合 計		4		3
贈答品	第1次 (30%以上)	計	3	計	3
		習志野市		習志野市	
		鎌ヶ谷市		鎌ヶ谷市	
		船橋市		船橋市	
	第2次 (10～30%未満)	計	3	計	3
		八千代市		八千代市	
		白井市		白井市	
		市川市		市川市	
	第3次 (5～10%未満)	計	1	計	4
		佐倉市		佐倉市	
				※ 印旛村	新規
				※ 本埜村	新規
				※ 浦安市	新規
合 計			7		10

※印は変化(商圏内の階級移動、圏外流出、新規商圏)のあった市町村

○印は市町村合併後も新市が同一階級もしくは上位階級の商圏内

△印は市町村合併後も新市が商圏内も商圏階級が低下

×印は市町村合併後は新市が商圏外 ☆印は市町村合併市

10 木更津商圏（準商業中心都市）

(1) 商圏の概要

表IV－10－1 木更津商圏

商圏 (基準吸引率)	旧・市町村区界				現・市町村区界			
	市町村		商圏人口 (人)	吸引人口 (人)	市町村		商圏人口 (人)	吸引人口 (人)
		市町村 吸引率				市町村 吸引率		
第1次 (30%以上)	計	2 76.3%	182,043	138,930	計	2 76.3%	182,043	138,930
	木更津市	84.2%	122,745	103,351	木更津市	84.2%	122,745	103,351
	袖ヶ浦市	60.0%	59,298	35,579	袖ヶ浦市	60.0%	59,298	35,579
第2次 (10～30%未満)	計	1 16.4%	90,142	14,783	計	1 16.4%	90,142	14,783
	君津市	16.4%	90,142	14,783	君津市	16.4%	90,142	14,783
第3次 (5～10%未満)	計	4 6.6%	48,467	3,196	計	1 6.4%	36,170	2,315
	旧・鴨川市	6.8%	29,822	2,028	鴨川市	6.4%	36,170	2,315
	旧・天津小湊町	5.0%	7,244	362				
	旧・富浦町	5.4%	5,623	304				
	旧・富山町	8.7%	5,778	503				
合 計		7 48.9%	320,652	156,910		4 50.6%	308,355	156,028

注1) 吸引率=吸引人口÷商圏人口×100

注2) 各商圏内の最上段吸引率は圏内加重平均(圏内吸引人口計÷圏内商圏人口計×100)

注3) 市町村・商圏人口は平成18年10月1日現在(千葉県毎月常住人口調査より)

但し、旧市町村人口は平成18年10月末日現在(各市町村住民基本台帳字別人口表より)

○木更津商圏は君津ブロックを中心に4市から形成され、商圏人口は約31万人（木更津市人口の約2.5倍）、商圏からの吸引人口は約16万人（同約127%）、商圏内吸引率は50.6%となっている。

○第1次商圏は2市で吸引率の平均は76.3%、第2次商圏は1市で吸引率は16.4%、第3次商圏は1市で吸引率は6.4%となっている。

図Ⅳ－１０－１ 木更津商圏（衣料品・食料品・飲食・贈答品）

（衣料品）



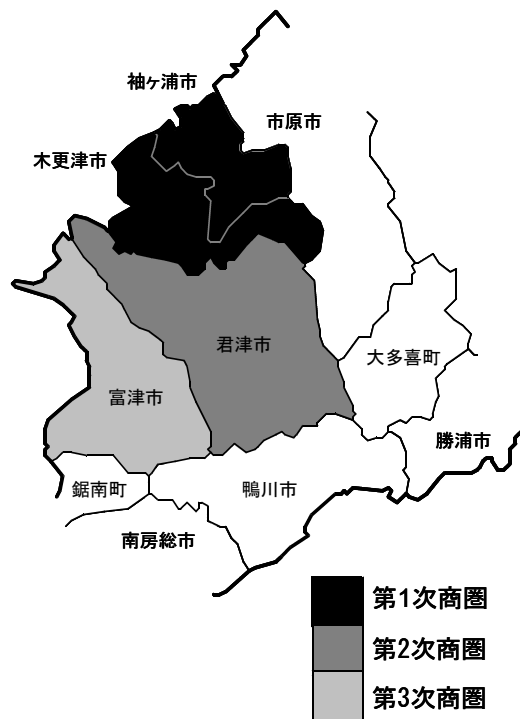
（食料品）



（飲食）



（贈答品）



第1次商圏
第2次商圏
第3次商圏

(2) 旧市町村区界での前回調査との比較

○商圏内市町村数

- ・第1次商圏は、3市であったうち、1市が第2次商圏へ移動したことから、1減して2市となった。
- ・第2次商圏には該当する市町村がなかったが、第1次商圏から1市が入った。
- ・第3次商圏は1市1町であったが、その2市町がいずれも圏外に出た代わりに、新たに1市3町が入ったことから、2増して1市3町となった。
- ・商圏全体では、5市町（4市1町）であったものが、2増して7市町（4市3町）となった。

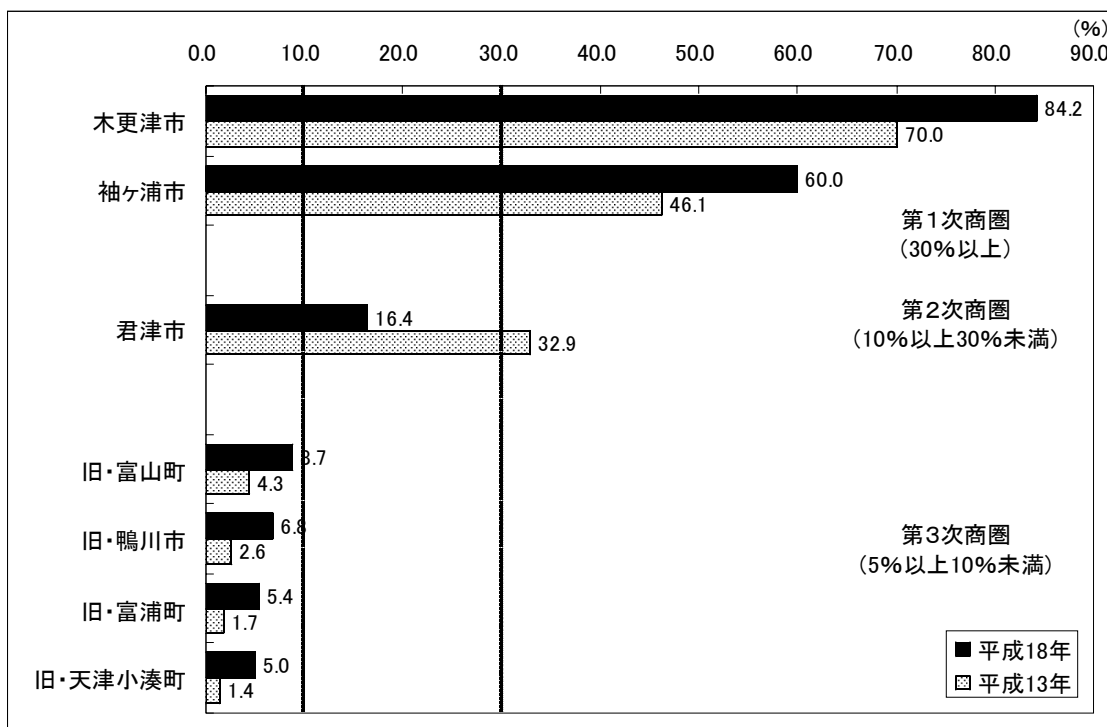
○商圏人口：前回調査時（336,266人）から減少して320,652人となった。（前回比▲4.6%）

○商圏内吸引率：前回調査時（43.6%）から上昇して48.9%となった。（前回比＋5ポイント）

○吸引人口：商圏人口は減少したものの吸引率が上昇したことから、前回調査時（146,769人）から増加して156,910人となった。（前回比＋6.9%）

○吸引力：吸引人口が増加したことから、前回調査時（119.6%）から上昇して127.8%となった。（前回比＋8ポイント）

図Ⅳ－10－2 木更津市の吸引状況の変化（旧市町村区界）



(3) 市町村合併による市町村区界変化に伴う変化

○商圏内市町村数

- ・第1次商圏、第2次商圏では市町村合併は発生しておらず変化はない。
- ・第3次商圏は、旧市町村区界では1市3町であるが、新市町村区界では1市1町が合併により1市となったが第3次商圏にとどまり、他の2町は合併後（合併新市が）圏外に出たため、3減で1市となった。
- ・商圏全体では、旧市町村区界では7市町（4市3町）であったが、新市町村区界では3減して4市となった。前回調査時の5市町村（4市1町）との比較では1減となった。

↓

（現市町村区界での商圏の前回調査との比較）

○商圏人口：現市町村区界での商圏人口は前回調査時（336,266人）から減少して308,355人となった。（前回比▲8.3%）

○商圏内吸引率：前回（43.6%）から上昇して50.6%となった。（前回比＋7ポイント）

○吸引人口：商圏人口は減少したものの吸引率が上昇したことから、前回（146,769人）から増加して156,028人となった。（前回比＋6.3%）

○吸引力：吸引人口が増加したことから、前回（119.6%）から上昇して127.1%となった。（前回比＋7ポイント）

(4) 衣料品購入における商圏内市町村の具体的な変化

○衣料品購入における木更津商圏内の市町村の具体的な変化を表Ⅳ－10－2に示す。

表Ⅳ－10－2 木更津商圏の市町村の変化（衣料品）

商圏 (基準吸引率)	平成13年		平成18年(旧・市町村区界)			平成18年(現・市町村区界)	
	市町村		市町村		市区界変化 による商圏 からの移動	市町村	
		平成18年 での変化		平成13年 からの 変化			平成13年 からの 変化
第1次 (30%以上)	計	3	計	2		計	2
	木更津市		木更津市			木更津市	
	※ 君津市	第2次へ	袖ヶ浦市			袖ヶ浦市	
	袖ヶ浦市						
第2次 (10～30%未満)	計	0	計	1		計	1
			※ 君津市	第1次から		※ 君津市	第1次から
第3次 (5～10%未満)	計	2	計	4		計	1
	※ 富津市	圏外へ	※ 旧・鴨川市	新規	○(鴨川市)	※ 鴨川市	☆
	※ 鋸南町	圏外へ	※ 旧・天津小湊町	新規	○(鴨川市)		
			※ 旧・富浦町	新規	×(南房総市)		
			※ 旧・富山町	新規	×(南房総市)		
合 計		5		7			4

※印は変化(商圏内の階級移動、圏外流出、新規商圏)のあった市町村

○印は市町村合併後も新市が同一階級もしくは上位階級の商圏内 △印は市町村合併後も新市が商圏内も商圏階級が低下

×印は市町村合併後は新市が商圏外 ☆印は市町村合併市

(5) その他の品目（食料品・飲食・贈答品）における商圏内市町村の具体的な変化

○その他の品目の購入における木更津商圏内の市町村の具体的な変化を表Ⅳ－１０－３に示す。

表Ⅳ－１０－３ 木更津商圏の市町村の変化（食料品・飲食・贈答品）

商圏 (基準吸引率)		平成13年 市町村		平成18年(現・市町村区界) 市町村	
		平成18年 での変化		平成13年 からの変化	
食料品	第1次 (30%以上)	計	1	計	1
		木更津市		木更津市	
	第2次 (10～30%未満)	計	1	計	1
		※ 君津市	第3次へ	※ 袖ヶ浦市	第3次から
	第3次 (5～10%未満)	計	1	計	1
		※ 袖ヶ浦市	第2次へ	※ 君津市	第2次から
合 計		3		3	
飲 食	第1次 (30%以上)	計	2	計	2
		木更津市		木更津市	
		※ 君津市	第3次へ	※ 袖ヶ浦市	第2次から
	第2次 (10～30%未満)	計	1	計	0
		※ 袖ヶ浦市	第1次へ		
贈答品	第3次 (5～10%未満)	計	1	計	3
		富津市		※ 君津市	第1次から
				富津市	
				※ 鴨川市	☆ 新規
	合 計	4		5	
贈答品	第1次 (30%以上)	計	3	計	2
		木更津市		木更津市	
		※ 君津市	第2次へ	袖ヶ浦市	
	第2次 (10～30%未満)	計	0	計	1
				※ 君津市	第1次から
贈答品	第3次 (5～10%未満)	計	1	計	1
		富津市		富津市	
	合 計	4		4	

※印は変化(商圏内の階級移動、圏外流出、新規商圏)のあった市町村

○印は市町村合併後も新市が同一階級もしくは上位階級の商圏内

△印は市町村合併後も新市が商圏内も商圏階級が低下

×印は市町村合併後は新市が商圏外 ☆印は市町村合併市